

◇ 支えあい ひとりの心 みんなの力 ◇

江 高 連 だ よ り

れんたい

第46号(通算58号)
平成24年3月15日発行



第27回ゲートボール大会(野幌末広町公園)より

江別市高齢者クラブ連合会

(この情報誌は、共同募金配分金により作られています)

平成23年度石狩管内小ブロック研修会報告

江別市高齢者クラブ連合会 副会長

総務財政部長 小笠原 保

昨年10月、恵庭市民会館で開催された管内研修会で講演された、ふるさと再生塾長小山忠弘先生のお話を抜粋しながら私見を交え報告いたします。

- (1) 日本の高齢者の現状は、65歳以上の人口2,980万人で高齢化率23.2%、江別市は平成23年10月1日現在で22.8%と若干低くなっています。

一般的には少子高齢化と言われ、次第に増え続ける高齢者が肩身を狭くする必要もないですし逆に手厚い保護を受けるのは当然と思う必要もないとのこと。

- (2) これからの高齢者は地域で仕事を創るとともに安心安全温かい社会を創る主役になる。行政から与えられるサービスに頼るだけでなく高齢者も公共サービスを提供することを考えるときです。

- ・地域施設の清掃、草刈等
- ・国があなたのために何をしてくれたかでなくあなたが国のために何ができるか
- ・「心」は誰にも見えないが「心遣い」は良く見える。
- ・ボランティアとは人間の命を守り自分の生活を考え問い返しながらかれ誰もが安心して暮せる街づくりと社会を創る活動、これらは他人のためでなく自分を豊かに成長させるための活動である。

- (3) 高齢者の責務

老いに伴って生ずる心身の変化を自覚して常に心身の健康を保持し、今までの知識と経験を活用し社会活動に参加するよう努めるそしてお世話になる受動からお世話する能動へ転換することである。

市役所、社会福祉協議会が何をしてくれるかでなく自分が町内会、街づくりに何ができるか積極的に出ることと提唱されております。「どれだけ長生きしたかでなくどれだけ住みよい地域づくりのために自分の知恵や技を子どもたちや地域にお返し活動したかその時間の長さに価値がある」と言っています。

- (4) これからの高齢者の使命として「モノ、カネ」から「ココロ」への回帰運動の展開。かつて日本人が持っていた当然の心がけ＝節約、粗食、勤勉、義理人情、親孝行、近隣同志の支え合い＝を味合うことが大事な要素と思います。

日々の生活においては仕事も終え、子どもも離れた環境のなかで町内の交流に生き甲斐を持つことが残された人生の生き方とも言われております。

以上、まとめ方が悪く理解しにくいところもありますが若干でも実践出来ることがらがあれば幸いです。

江別A地区高連の活動状況について

江別A地区高齢者クラブ連絡協議会 会長 正 木 勝 夫

今年度も各行事について会員の協力をいただきながら予定通り実施出来、感謝しています。

○ まちかど歴史再発見 今年、石狩川左岸周辺と千歳川河口付近

- ・日 時 8月27日 美原農村環境改善センター 9時出発(福祉バス使用)
- ・参加者 4クラブ 30名
- ・ガイド 江別観光ボランティア 松田勝直さん
- ・見学先

1 江別市の発祥地 ～ 対雁

江別市発祥の地としての地位は、不動であるが、今はどこを見てもその面影を偲ぶことは出来ない。特に、左岸には先住アイヌのコタンがあったり、明治12年より旧対雁小学校や駅通所、神社などがあって対雁村の中心となっていた。榎本公園や春先にはアオサギの姿を見かける世田豊平川を見ながらその地を後にしました。

2 旧町村農場

サイロと牛舎と緑といった江別を代表する景観、酪農について学ぶことが出来る場所、木々の緑に囲まれた人々の憩いの場として親しまれています。

3 江別市郷土資料館

アーリーアメリカン調の落ち着いた色調が、周囲の緑とともに優しい雰囲気を作り出している。館内に展示の「ふるさと江別」を見て石狩川と緑深い野幌原始林、郷土の自然の豊かさに改めて感動した次第です。

4 旧市街地のレンガや石造りの建物

- ・ふれあい滝 ・火薬庫 ・旧岩田邸 ・旧岡田邸倉庫 ・旧北陸銀行
- ・旧大久保邸倉庫 について車窓から見て説明を聞きました。

5 江別河川防災ステーション

江別港跡、流域をつなぐ石狩川唯一の港、もくもくと蒸気をあげて外輪鉄船「上川丸」は進む。

終わりに本事業の企画、運営、ガイドなどに当られた方々に厚くお礼申しあげます。



トピックス

平成23年度市民憲章推進協議会が主催の「花のある町並みづくりコンテスト」地域花壇の部で当A地区の「美原みすず会」が見事、最優秀賞を受賞しました。会員各位の取組みに改めて敬意を表します。



美原自治会館脇に整備された花壇

江別B地区高連の活動状況について

江別B地区高齢者クラブ連絡協議会 会長代行 東 野 哲 男

平成23年度を振り返り定期総会の会員の皆様からの要望等から、2大事業として「親善パークゴルフ大会」、「演芸のつどい」を実施しました。

1 第11回親善パークゴルフ大会

7月8日(金)午前 あけぼのパークゴルフ場A・B・Cコース27ホールで会員137名の参加で小雨の中開催しました。優勝、準優勝者は、次のとおりです。

優勝 男子 寒河江 匡 (ほほえみ会) 女子 工藤ミヤ子 (東光百寿会)
準優勝 増井 清一 (コスモスクラブ) 堤 洋子 (ホットクラブ)

2 第16回演芸のつどい

10月16日(日)午前10時 江別市コミュニティセンターで開催しました。

出演別では、舞踊8組19名、カラオケ27名、社交ダンス1組10名の組合せで午前20組、午後16組で行われ参加者は合計341名でした。

終演後、お楽しみ抽選会を行い65名の方にささやかながらの商品を差し上げて終りまで賑やかにそして惜しめない声援で終わることが出来ました。

演奏機器につきましては、萌えぎ野自治会の全面的なご支援をいただき感謝しています。

3 第40回江別市高齢者クラブ連合会大運動会で「早苗クラブ」が優勝しました。

「早苗クラブ」は、会員の拡大に積極的に行動し、更に東日本大震災の義援金募集には会員皆さんが街頭募金に立つなど会員の協力体制も万全なものがありましたことから大運動会にその力が発揮されたものと感服いたしており、本当におめでとうございます。

坂本正会長さん、大会終了の万歳三唱は、突然であったが「本当に気分が乗り万感を込めて三唱できました」と話していました。



「第16回地区高連演芸のつどい」のひとこま



江高連大運動会で団体優勝の「早苗クラブ」メンバー

江別C地区高連の活動状況について

江別C地区高齢者クラブ連絡協議会 会長 中 西 史 郎

江別C地区連協の二大事業として、日帰りで会員親睦旅行（平成23年8月31日新篠津たっぷの湯）とパークゴルフ大会（平成23年8月8日あけぼのパークゴルフ場）を開催いたしました。

パークゴルフ大会は平成15年度から9回と親睦旅行については平成16年度から8回実施しました。

今年度、当地区連協はクラブ数が13クラブ、会員数887名で恒例となりました2つの行事を実施しましたが、参加クラブ数と参加人数はほぼ固定した感があり、当初は参加人員を10%を見込んでおりましたが7%前後で推移しておりますが、回を重ねる毎に微増しておりPRの結果が現れたものと役員一同喜んでおり、会員の方々のご協力に感謝しております。

会員親睦旅行は、短時間での行事でしたがカラオケ、ビンゴゲームを楽しみながらお互いに酒を酌み交わし親睦を深めた1日でした。

また、パークゴルフでは毎回参加される方の顔ぶれが決まり、マーカーの指導のもとそれぞれ腕前を発揮し、額に心地よい汗を滲ませ、和やかな一日を過ごしました。

2つの行事につきまして事故もなく無事終了しましたことを報告いたします。

— パークゴルフ大会成績 —

男 子

- 優 勝 石井 孝（向ヶ丘ひばり会）
- 準優勝 山田 耕一（見晴台シルバークラブ）
- 3 位 黒沢 正志（江別清風クラブ）
- 4 位 今 武人（一番町新生クラブ）
- 5 位 北川 高彰（一番町長生クラブ）

女 子

- 優 勝 中村キミ子（高砂クラブ）
- 準優勝 熊谷とも子（一番町新生クラブ）
- 3 位 北川 幸枝（一番町新生クラブ）
- 4 位 上田須磨子（対雁長生クラブ）
- 5 位 古関百合子（江別清風クラブ）



会員親睦旅行参加者数

ク ラ ブ 名	男	女	計
緑町福寿会	2	3	5
一番町長生クラブ	1	0	1
江別清風クラブ	6	1	7
対雁長生クラブ	8	8	16
向ヶ丘ひばり会	5	17	22
高砂クラブ	5	5	10
合 計	27	34	61



はつらつとプレーするパークゴルフ大会参加者

野幌地区高連の活動状況について

野幌地区高齢者クラブ連絡協議会 事務局長 武 石 鉄 也

平成23年度事業計画に基づいて活動を実施しています。新規に事業を計画することは非常に難しく、加えて最近では会場を確保することも容易ではありません。そのような実情から今までの活動を踏襲するという状況にあります。

主なイベントは次のとおりです。

1 「第16回演芸の集い」平成23年7月21日(木) 野幌公民館ホール

7月の本番に向けて4回の実行委員会を重ね、出演者の募集、役員の役割分担、整理券の発行、曲名の決定、プログラムの作成等綿密な作業手順を経て本番当日を迎えます。

「演芸の集い」は、出演者、観客、役員が一体となって成功裡に終わることができました。

・種 目 カラオケ、舞踊、輪踊り、ダンス、民謡、詩吟、器楽その他
(その年によって種目は変わります)

・出演者 15クラブ、55組、75名(男性23名、女性52名)

・入場者 395名

2 「第16回グリーンボール大会」平成23年8月27日(土)

パークゴルフ全盛の昨今、競技者が減少している中、野幌地区高連では江別市発祥のグリーンボールの普及に向けて大会を続けているところです。しかし、大会参加者は年々減少して淋しい思いをしています。

・出場者 7クラブ11チーム 49名(男性29名、女性20名)

・成 績 団体優勝 錦中央仲良しクラブA 個人優勝 山崎 実(鮎川クラブ)
2位 錦中央仲良しクラブB 2位 山崎 光磨(鮎川クラブ)
3位 松並クラブB 3位 奥野正五郎(野幌美幸クラブ)

3 「第12回会員研修旅行」平成23年10月4日～5日 虎杖浜温泉1泊2日

毎年、紅葉の美しい季節に旅行を計画していますが、その年の気候によって時期が早かったり遅かったり、また、場所によって早い地域、遅い地域があって、なかなか最盛期にぶつかることは難しいです。今回は太平洋側の虎杖浜温泉を選びました。今年も紅葉は少し早かったようです。6クラブ39名(男性19名、女性20名)が参加しました。

・1日目：野幌発⇒道の駅「ウトナイ湖」⇒苫小牧フェリーターミナル(昼食)⇒アイヌ民族博物館(見学)⇒ホテル・オーシャン泊

・2日目：ホテル・オーシャン発⇒大漁番屋(海産物)⇒苫小牧三星菓子店⇒道の駅「サーモンパーク千歳」(昼食)⇒道の駅「花ロードえにわ」⇒野幌着

4 「野幌地区高連パークゴルフ同好会」

平成22年に立ち上げた「パークゴルフ同好会」は、4回の大会を実施しました。将来は正式な大会として、事業計画に組み入れたいと考えています。



親睦交流を深めた野幌地区高連会員のみなさん



「第16回地区高連演芸の集い」のひとつま

大麻地区高連の活動と状況について

大麻地区高齢者クラブ連絡協議会 会長 宇 野 忠 男

平成23年度通常総会が、平成23年4月12日(火)に大麻第二住区会館で9クラブ27名の参加を得て開かれました。平成22年度事業報告、平成22年度収支決算報告と監査報告、審議事項として平成23年度事業計画と収支予算が満場一致で決定されました。

以下事業について、順次項目別に概略報告いたします。

1 「第28回大麻地区高連大運動会」

平成23年6月18日(土)大麻体育館で9クラブ224名が参加して盛大に行われました。

競技は午前中でしたが役員、選手、応援の皆様方本当にご苦労様でした。主な成績は、次のとおりでした。

優 勝 大麻団地長生クラブ
準優勝 大麻第二住区睦会
第3位 大麻西町健睦クラブ

2

大 会 名	期 日	会 場	参加人数	内男子	内女子
第10回パークゴルフ大会	7月5日	昭和の森	87名	66名	21名
江高連助成パークゴルフ大会	9月7日	のっぽろ	83名	63名	20名

パークゴルフは高齢者に最適のスポーツで青空の下、新鮮な空気の中、新しい仲間との交流で出会いがあり楽しい時間を過ごしました。

・7月5日大会の成績

優 勝 男子	木村 弘(文教クラブ)	女子	小川千恵子(西町健睦クラブ)
準優勝	橋本 公進(悠友クラブ)		矢野 純子(悠友クラブ)
3 位	金子 宏(ひまわりクラブ)		三井多輝子(新町クラブ)
4 位	河村 勝身(西町健睦クラブ)		藤原 利子(扇町クラブ)
5 位	武田 満雄(東大麻クラブ)		石橋 朋子(西町健睦クラブ)

・9月7日大会の成績

優 勝 男子	金子 宏(ひまわりクラブ)	女子	矢野 純子(悠友クラブ)
準優勝	大原 良徳(西町健睦クラブ)		小川千恵子(西町健睦クラブ)
3 位	山下 邦男(ひまわりクラブ)		笠原 美代(沢町長生クラブ)
4 位	鈴木 芳雄(大麻第二住区睦会)		石橋 朋子(西町健睦クラブ)
5 位	佐々木和夫(沢町長生クラブ)		桜井 フミ(悠友クラブ)

その他、ホールインワンもありましたが、省略させていただきました。

3 「第29回演芸大会」

・期日；平成23年8月20日 ・会場；大麻西地区センター

恒例の演芸大会には「コーラス」「カラオケ」「舞踊」「民謡」「社交ダンス」「器楽合奏」等に普段の練習成果、隠れたノドで約250名の観衆を満足させていただきました。

以上雑ぱくですが、報告といたします。

なお、その他ゲートボールも行い、今年度最後の行事として3月中旬には「幹部研修旅行」を予定しております。

新年度も健康に留意し、会員同志が支え合い、助け合い事業の推進に協力、ご理解をお願いいたします。



近隣公園の清掃奉仕活動に励む
「悠友クラブ」メンバー



児童と夏休みラジオ体操会に参加の
「宮町クラブななかまど」会員

高齢者クラブメインテーマ

「創造と連帯の輪を広げて
——心豊かな21世紀を」

「第23回女性リーダーセミナー」に参加して

女性部長 大谷 洋子

昨年11月24日、25日に全国都道府県老人クラブ女性リーダーが東京の霞ヶ関ビル第5会議室で133名の各代表が集い開催され、私は、道老連女性委員会常任委員として参加して参りました。

老人クラブ活性化推進をスローガンに健康づくり、友愛活動、介護予防活動、若手リーダーの養成、クラブ活動参加の呼びかけ、高齢者による地域の支え合い災害に備えた安全、安心の街づくり健全な社会保障制度に向けた学習、各リーダーの取り組み事例を話し合い「高齢者の暮らし支え合い」「男女共同参画のクラブづくり」に対する理解を広げ、活動を通じて尚益々の積極的な取り組みで高齢者の絆を深めようというセミナーの締めくくりでした。

特に、昨年は3月11日の東日本大震災で岩手県、宮城県、仙台市、福島県を襲った津波、原発事故自然の巨大な破壊力には成すすべもなかったと各代表が涙ながらの実状のお話に一同涙し底知れぬ脅威を畏怖するばかりでした。

最後に全国からの尊い支援金、心づくしの贈り物、仮設住宅に深く感謝し帰郷の際には皆様にくれぐれもお礼をお伝えくださいと申しておりました。自然の猛威は何時起きるとも限りません。人と人との支え合いを第一に大切にしていきたいと帰路に着きました。

新会長になられて感じたこと

平成23年度新たに単位クラブの会長さんに就任され、これまで10か月運営に携われ、お気付きの点についてご感想、ご意見をお聞きしました。今年度は、10の単位クラブの会長さんが交替され、新会長さんにアンケートをお願いし、ご回答をいただきました内容の要旨を掲載いたします。

ご多用のところご協力ありがとうございました。

質問項目に従い、回答の内容をお知らせいたします。

◇会員数の維持、確保について

年平均年齢が高くなっているため、亡くなったり病気がちで転出したりその後、新会員が入らないため、各クラブ共、会長さん初め会員が新会員勧誘のため家庭訪問したり自治会の集まり時に声を掛けたり、また例会時にサークル活動を通して誘ったり、たいへん、ご苦勞されているとのこと。健康志向の高まりに高齢者向けスポーツ活動を取り入れるなど魅力ある活動が求められているようです。

◇良かったこと

会長が率先して活動すると会員の参加も良くなり会員融和が計れ楽しかった。(萌えぎ野昂会小島会長) 地域包括支援センター主催の講習会等で高齢者の日常生活について健康に対し会員の意識が高まりつつあるよう感じます。(東光百寿会 牧原会長) 会の各種行事に多くの会員が参加され健康、親睦につながり特に毎月の誕生会は楽しみにしているようです。(緑ヶ丘南緑樹会 長内会長) 会員が皆健康で活動できたこと。(大麻扇町クラブ 石村会長)

◇困っていること

会員年齢が年年高くなり、新会員の加入が困難である。会費、助成金のみでは活動資金に支障がある。行事参加に送迎問題があり、車を出してくださった方に謝礼がかかる。

進んで役員のなり手がいない。日頃の活動、行事には積極的に参加するが会や同好会の中心となって運営に協力することに消極的な人が多い。入院や足が悪く例会等に出席出来ない方が多い。

行事参加や一泊旅行は原則20名以上となっており、毎年人集めに苦勞している。会員の協力心が不足している。

◇連合会に望むこと

- 1 連合会主催行事に従事の会員(連合会役員)の参加費用は、連合会で負担してもらいたい。また連合会役員への連絡事項は、単位クラブを通して行ってもらいたい。
- 2 新会長には、研修会を開いてほしい。
- 3 パークゴルフの道具を揃えてもらえないか？
- 4 運営補助金申請書類の簡素化。年間行事予定表の作成。
- 5 大麻地区高連協に加入しないクラブがあり、まとまりがつかない。改善してほしい。
- 6 7月の福祉ふれあい広場のバザー、女性だけでなく各クラブに声かけしては？

◇今後の対応について

- 1 連合会役員の会議等出席時の費用問題は、関係部会で協議をしていきたいと存じます。
また、役員として出席、参加の方は、会長と常に連絡を取っていただき状況を把握していただきたいと思います。
- 2 特別な研修会は実施しませんが、総会出席や事務的なことは、資料配布によりまた、連合会行事や大切なお知らせ事項は、毎月発行のミニ通信「はつらつ」に掲載しますので注意してご覧いただき、会の運営に努めていただきますようお願いいたします。
- 3 パークゴルフの用具は、仲間会員から借りること等でお願いします。
- 4 24年度クラブ運営費補助金書類は、道老連や市と打合せ、初めての担当者でもその作成が出来るよう様式を改善しました。年齢別、男女別会員数の把握はクラブ運営費助成を続けるためにも必要ですので、各クラブでは名簿の作成や集計はパソコンを活用するなど事務簡素化に努めてくださるようご協力ください。年間行事予定表の作成は、新年度作成するよう考えております。
- 5 2年前にも江高連が該当クラブに加入の協力要請をしておりますが、現在は地区高連協の行事に参加することがそのクラブの利点となる環境を作るなど地区高連協にも加入に向けた努力をしていただいているところです。
- 6 ふれあい広場バザーへの品提供は、ミニ通信「はつらつ」でもお知らせしていますが、今後も周知に努めて参ります。

〈平成23年度江高連行事スナップ〉



定期総会で「功労表彰」を受ける
単位クラブ会長



「新会員加入促進クラブ表彰」を受ける
3クラブの会長



女性のつどいの席で社協会長へ
「ご縁募金」10万円贈呈



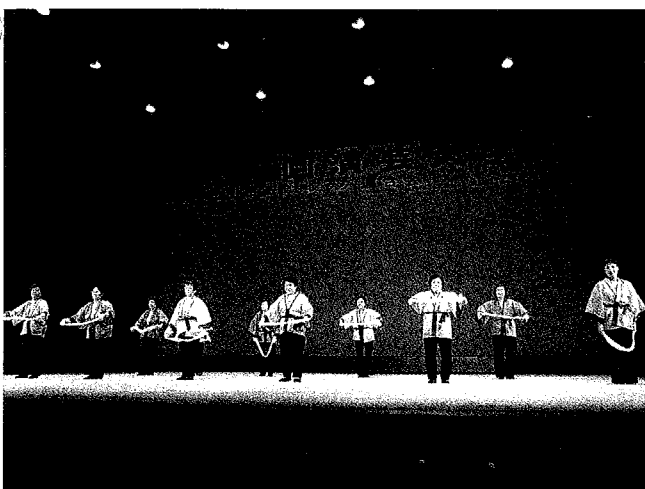
大運動会団体競技「玉入れ」で真剣に
プレーする代表選手



シルバーウィーク開会式で表彰式に臨む
「健康コンクール被表彰者」



第39回演芸大会「見晴台シルバークラブ」
会員のコーラス発表



演芸大会 江高連女性部有志の舞踊
「八木節」発表



平成24年新年交礼会社協会長の発声で
祝杯をあげる

友愛活動の取組みについて

介護の必要な高齢者仲間に「絵便り」を通じて元気に生きる力を与えよう——と今年も毎月第3水曜日を活動日とし月1回、女性部会員が中心になって市総合社会福祉センター（錦町14-87）に集まり「絵便り」の作成に励みました。

23年度からは、一部デイサービスで施設に通う高齢者、介護施設入所の仲間にも各人の誕生日に合わせ延べ約500通の激励の「絵便り」を届けることが出来ました。

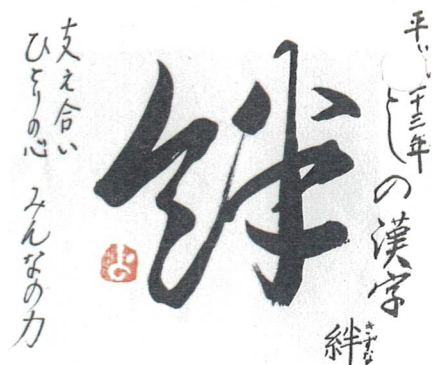
現在、友愛活動員は市内各地から26名毎回、大谷女性部長、菊田恵美子さん、山本貞子さん吉田重四郎さんらが中心になって一生懸命活動されています。男性会員は3名です。

届け先からは、たくさんの感謝のこたえをいただいております。

新年度も楽しく活動が続けて参りますので、どうぞ、趣旨にご賛同される方は活動日に見学されるなり、入会をお待ちしています。

参加申込みやお問合せは、大谷洋子さん（TEL 386-4884）、菊田恵美子さん（385-9113）又は江高連事務局（385-1247）まで。

今年度、お届けした作品の一部をご覧ください。



〈編集後記〉

大雪と寒冷の天候が漸く終息し、北国江別にも春の息吹が感じられる頃となりました。各クラブ会員の皆様には、ますます、お元気でクラブ活動にお励みのことと思います。

さて、江高連の1年間の活動状況をお知らせする江高連だより「れんたい」第46号をお届けする時期となりました。ご覧になっての感想などをお寄せいただければと思います。ご多用の中ご寄稿いただきました方に厚くお礼申しあげます。（事務局 密山）